

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興

施策 就業環境の整備

基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業 (図書館資料等整理事業)**

[0937]

部名	教育部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	情報図書館	事業終了年度	平成21年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市民</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>図書館資料等整理事業を実施することにより、市内の雇用を創出する。</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>当地域の厳しい雇用失業情勢に対処するため、臨時応急の措置として、市内の失業者を対象に情報図書館閉架資料の整理事業を行い雇用・就業機会の創出を図る。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市民	人			121,987	
対象指標2						
活動指標1	委託金額	千円			1,170	
活動指標2						
成果指標1	新たに雇用された人数	人			3	
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	1,170	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	415	0
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,585</b>	<b>0</b>

費用内訳	
21年度	委託料 1,170千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	年間20万人が90万点以上利用する情報図書館本館において、閉架書庫にある資料の中には年月を経て劣化が著しいものもあり、資料のデジタル化を含めて早急に整備する必要がある。	事業を取り巻く環境変化	閉架資料等の整理は通常業務ではなかなか手掛けられない部分であるが、経年劣化で時間の猶予も限られてきている状況となっている。
--------	--	-------------	---

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

緊急雇用創出事業で雇用機会の創出が目的であるため。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

この事業の実施により、失業者の雇用創出につながった。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由  
・  
根拠は？

失業者を3名雇用し、閉架資料の整理も計画どおり実施できた。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

単年度事業であるため、今後の成果向上の余地はないが、整理事業としての成果はあった。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由  
・  
根拠は？

失業者雇用にかかる事業の実施であり、予算のほとんどがその人件費である。